

# ワット・ビット・コネクトフォーラム

## DC を核とした地域の活性化

### - 医療でのAI活用に向けて -

株式会社ディー・エヌ・エー

グループエグゼクティブ / メディカル事業副本部長

株式会社アルム

取締役副社長COO兼CTO

菅原 賢太

# :DeNA



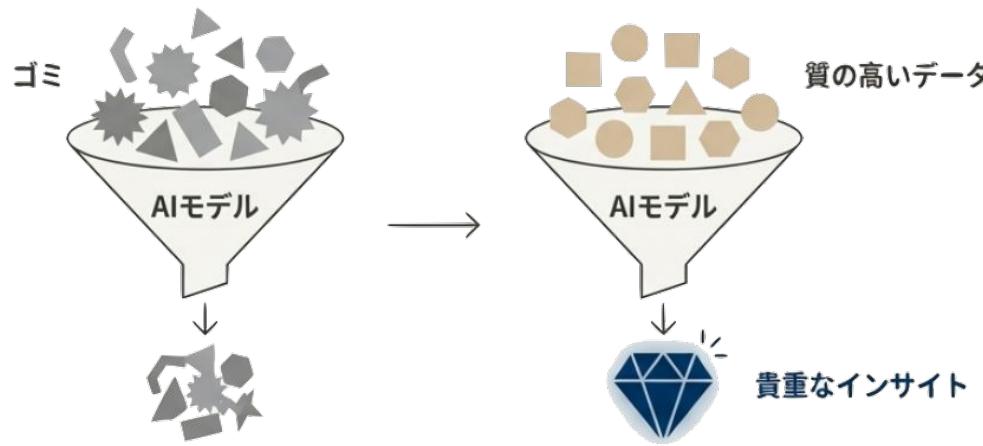
Shaping Healthcare,  
**Challenge for  
Tomorrow**

わたしたちはICTの力で医療の格差・ミスマッチをなくし、全て  
の人に公平な医療福祉を実現することを目指しています。



AI の活用に向けては、アルゴリズム以上に「データ」が重要

## “Garbage In, Garbage Out” (GIGO)



価値あるデータを集積できるかが勝負の分かれ目

# 医療における「質の高いデータ」とは



## 構造化 (Structured)



数値や標準コードで整理され、機械判読可能な状態のデータ。



## ラベル付き (Annotated)



専門医による正確な診断情報（正解ラベル）が付与されていること。



## マルチモーダル (Multimodal)



画像データ(DICOM)と、診療情報(FHIR)等の背景情報が高度に紐付いていること。

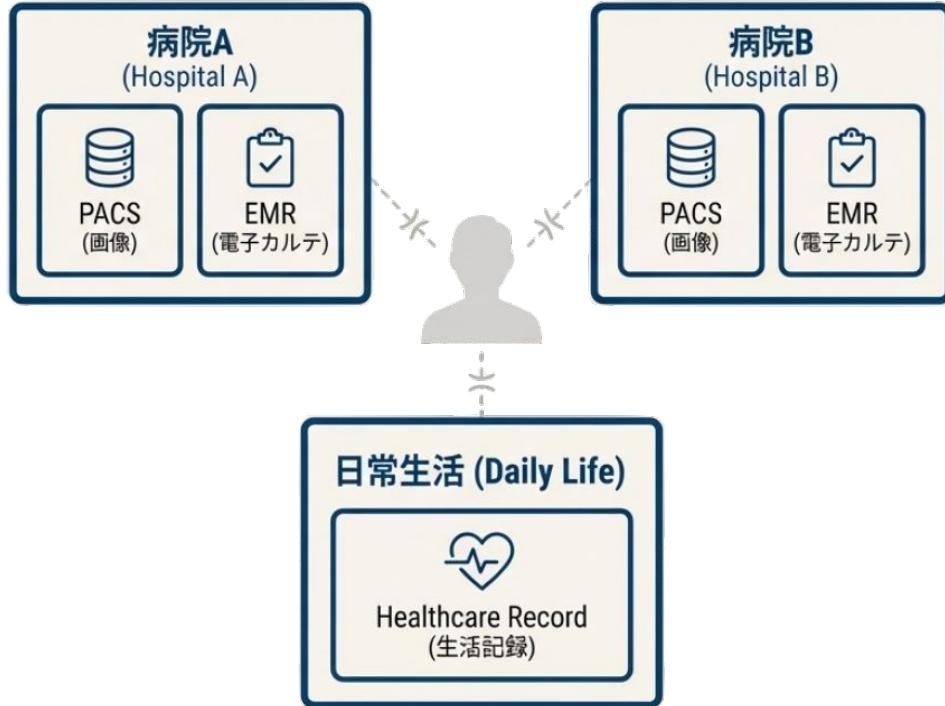


## 時系列 (Longitudinal)



単発の「点」ではなく、患者の人生を「線」として追える長期的なデータ。

# 医療データの「分断」という現実



## データのサイロ化 (Data Silos)

「医療記録」と「生活記録」の分断、さらに院内でも「PACS（画像）」と「EMR（電子カルテ）」の分断

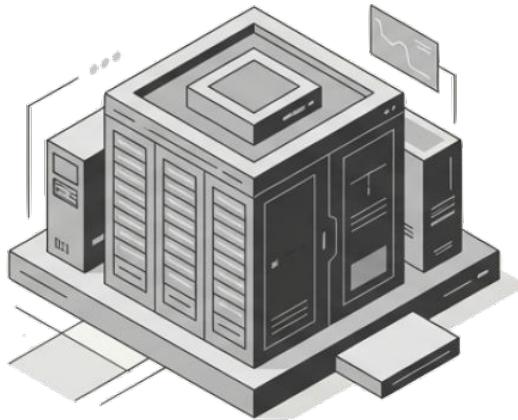
## 患者ジャーニーの欠落

病院ごとの断片的なデータしか存在せず、患者を中心とした全体像が見えない

## 標準化と連携の壁

特に大容量のDICOMデータは、インフラの制約により外部連携のハードルが極めて高いのが現状

# データを蓄積する環境が整備されれば十分なのか？



「箱」(The Vessel)

全国医療情報プラットフォーム

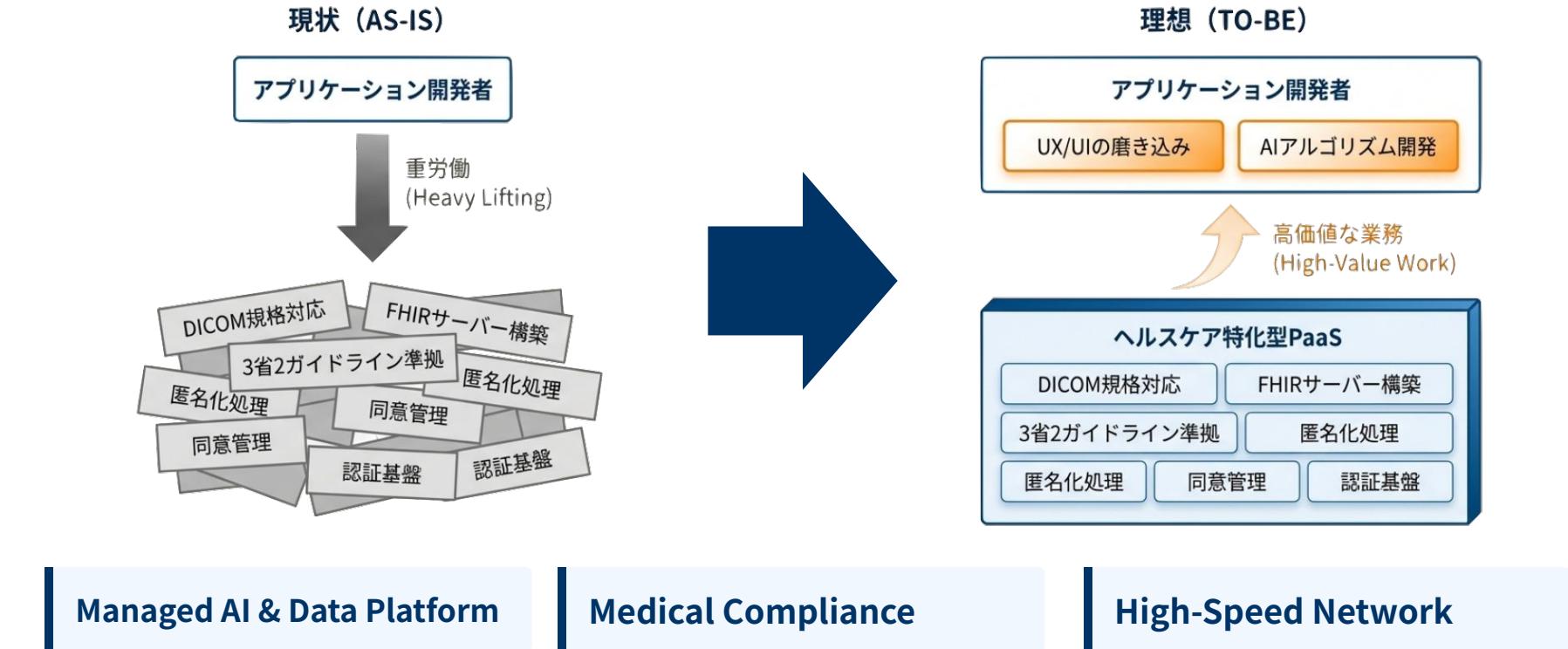


「魂」(The Soul)

患者・医療者が日常的に使うサービス

データ基盤があっても、使われるサービスがなければデータは流れない  
重要なのは、基盤の上で動く、使いやすい「上位サービス」をセットで考えること

# 「価値創出」に集中していくためには



サービス開発がUX / UI とサービス価値の創出に専念できる環境が必要

# 地域医療の未来を創出していくためには



インフラが「データ」と「開発」の複雑性を吸収することで  
日本の医療サービスは飛躍的に進化する可能性も

一人ひとりに 想像を超えるDelightを

:DeNA